

木づかい・森林づくり推進事業

【166,564(232,507)千円】

対策のポイント

木づかいや森林づくりに対する国民の理解を醸成するための幅広い普及啓発の取組を支援します。

<背景/課題>

- ・本格的な利用期を迎えた森林資源の循環利用を進めるには、木を使うことの良さや意義、森林づくりの重要性について、幅広く国民の理解を促し、行動につなげることが重要です。
- ・木づかいや森林づくりについては、これまで、広く一般消費者を対象に木材利用の意義を広めて木材利用を拡大するための「木づかい運動」や、多様な主体による森林づくり、観光資源としてのレクリエーションの森の整備等の総合的な普及啓発を実施してきました。
- ・これらの取組に加え、更なる国民の理解醸成のためには、木材利用の意義のみならず、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会も契機とした、日本の「木の文化」の国内外への情報発信等により、木材や木製品そのものの良さを伝えていく必要があります。

政策目標

○国産材の供給・利用量の増加

(2,500万^m (平成27年) →4,000万^m (平成37年))

<主な内容>

1. 「木の文化」創造・発信事業 72,419(85,415)千円
「2020東京オリンピック・パラリンピック大会」を契機とし、樹種毎の特性を活かした伝統的な加工技術や最新の木材製品など、日本が培ってきた「木の文化」を国内・海外に発信すること等により、木材・木材製品そのものの良さを伝える活動を支援します。
(1) 日本の「木の文化」の情報発信
(2) 来日観光客等に向けた「木のおもてなし」の提案
(3) 「木づかい運動」の推進のための国内向け活動
2. 多様な主体による森林づくりの促進 39,925(47,089)千円
全国規模の緑化運動を推進するとともに、NPOや企業等の多様な主体による森林づくりの拡大につながる取組を支援します。
(1) 全国規模の緑化運動の推進
(2) 多様な主体による森林づくりの普及啓発
(3) 森林づくり活動への支援
3. 森林景観を活かした観光資源の整備 54,220(100,003)千円
観光資源としての国有林のレクリエーションの森の整備に際し、地域材の利用の推進に積極的に取り組みます。
(1) モデル箇所における多言語による情報発信や施設整備等の環境整備
(2) 観光利用状況把握と対策の効果検証のための調査

[平成30年度予算の概要]

補助率等：定額等
事業実施主体：国、民間団体等

お問い合わせ先：

1の事業	林野庁木材利用課	(03-6744-2120)
2の事業	林野庁森林利用課	(03-3502-8243)
3の事業	林野庁経営企画課	(03-6744-2323)

背景

本格的な利用期を迎えた森林資源を活かし、林業・木材産業の成長産業化を図るためには、地域材の安定供給体制の構築や新たな木材需要の創出を行うとともに、木材利用や森林づくりについて、幅広く国民の理解と行動を促すことが重要です。

実施内容

消費者の木材利用に対する理解を醸成するための幅広い普及活動や、多様な主体による森林づくりの促進、観光資源としてのレクリエーションの森の整備に取り組みます。

「木の文化」創造・発信事業

【72,419 (85,415) 千円】

海外に向けた「木の文化」の情報発信、消費者の木材利用に対する理解を醸成するための普及活動、木材利用の顕彰、木育活動等を行う取組を支援します。

(1) 日本の「木の文化」の情報発信

伝統的な木材利用手法や製品、新たな技術を活用した最新の木材利用を国内外に向けて紹介

(2) 来日観光客等に向けた「木のおもてなし」の提案

来日観光客向け施設等における木製品の効果的な活用に向けた提案・情報提供や、導入された木製品の原材料の由来や製作過程等の紹介

(3) 「木づかい運動」の推進のための国内向け活動

WEBを活用した情報発信、ポスターや冊子等の作成・配布、地域材製品等の顕彰や木育活動を支援



伝統的な木材利用



地域材製品の展示

多様な主体による森林づくりの促進

【39,925(47,089)千円】

全国規模の緑化運動を推進するとともに、NPOや企業等の多様な主体による森林づくりの拡大につながる取組を支援します。

(1) 全国規模の緑化運動の推進

国土緑化運動の中心的な役割を果たす全国植樹祭、全国育樹祭、みどりの感謝祭等の緑化行事の開催

(2) 多様な主体による森林づくりの普及啓発

多様な主体が参加する「美しい森林づくり推進国民運動」を活かし、各種メディアを通じた情報発信、イベント開催・出展、情報提供ツールの活用等を組み合わせて普及啓発を実施

(3) 森林づくり活動への支援

先駆的・先導的で波及効果の期待できる森林づくり活動や、森林づくり活動をサポートする取組を支援



全国植樹祭

【フォレストサポーターズ】
○登録者数
個人・企業：約57,000件
(H29.12.10現在)



森林景観を活かした観光資源の整備

【54,220(100,003)千円】

国有林のレクリエーションの森のうち、選定されたモデル箇所において、多言語の情報発信や重点的な環境整備について積極的に取り組みます。

(1) 多言語による情報発信

日・英によるウェブサイト、リーフレットの整備や多言語看板の設置等の情報発信の推進（QRコード、WiFiの導入を含む）

(2) 施設整備等の環境整備

木道の整備等や、地域材を利用した施設整備・補修の実施

(3) 観光利用状況把握等調査の実施

観光利用状況の把握と対策効果の検証のための調査を実施



多言語看板



インテリアの改修